

第2回滋賀県国民健康保険運営協議会の概要

1. 日 時： 平成 29 年 7 月 6 日（木）14 時～16 時
2. 場 所： 滋賀県庁北新館 3 階 中会議室
3. 出席委員： 小林委員、野々村委員、松田委員、小西委員、富永委員、山口委員、
山本委員、北村委員、高岡委員、谷口委員、戸井委員、近藤委員、
若林委員
4. 欠席委員： 鈴木委員
5. 出 席 者： 藤本健康医療福祉部長、正木医療保険課長、課員
（傍聴）市町、国保連職員
6. 議事
事務局から、滋賀県国民健康保険運営方針（案）、滋賀県国民健康保険保健事業実施計画（データヘルス計画）の概要を説明した。

主なご意見等

「滋賀県国民健康保険運営方針（案）について」

- ・ 現在、2 人に 1 人が「がん」になり、3 人に 1 人が「がん」で亡くなる時代である。また、「がん」の医療費は高く、他の生活習慣病に対して突出している。そのため、「がん」に対する取組についても、運営方針に記載するべきではないか。
- ・ 県民、市民の立場で考えると、保険料の公平化、透明化、公正化が一番重要なポイントになると考えている。被保険者の方がどうなるかを考え取組んでいただきたい。

「滋賀県国民健康保険保健事業実施計画（データヘルス計画）について」

- ・ 特定健診の受診率をはじめとした目標数値については、目標に達するための具体的な戦術や、また、しっかりとしたタイムスケジュールを立てていただき、確実に実績を上げていくようにしていただきたい。また、単独の保険者では達成できないこともあるので、県下の関係機関と連携をより強固にし、それぞれが協力し合い、目標数値を達成していただきたい。
- ・ たくさんの目標を掲げるのも良いが、計画で時間が決まっているもの、特に注目すべきものに分け、計画的に取り組んでいただきたい。
- ・ 滋賀県の低い要因、高い要因の分析について今後作業をしてほしい。要因については、背景があると思うので、因果の推論、総論をしていただきたい。
- ・ 後発医薬品の使用割合が上がるよう取り組んでいただきたい。